

JICA 日系社会シニア海外協力隊の小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

ここ、サルタはフォルクローレ(アルゼンチンの民族音楽・民族舞踊)のメッカ。

街を歩くとフォルクローレを踊るストリート・ダンサーをよく見かけますし、フォルクローレのダンス教室もたくさんあります。でもアルゼンチンと言えば、アルゼンチンタンゴですね。ここサルタにも、アルゼンチンタンゴの教室がいくつかあります。今回はそのうちの一つをご紹介します。



以前にもお伝えしましたが、私は『せっかくフォルクローレのメッカと呼ばれるサルタに来たのだからぜひフォルクローレを踊りたい』と言う思いで、あるフォルクローレ教室に通いだしました。この教室の先生は私の娘世代ぐらいの若くてカッコいい方でした。教え方がとても上手で、今も週2回のクラスにせっせと通っています。実はこの先生、アルゼンチンタンゴも教えているのです。ほとんど興味がなかったアルゼンチンタンゴを事の成り行きで習い始めたのですが、すっかりその魅力にはまってしまいました。

私の先生は、Hector 先生と Ana 先生です。とても素敵なお二人ですが、アルゼンチンタンゴに対する情熱にはいつも関心させられます。Hector 先生は7歳からフォルクローレを始められたそうです。フォルクローレ歴、長いですね。タンゴは二十歳を過ぎてからだそうですが、とても良い先生に出会いタンゴの道を歩まれることになったそうです。Ana 先生はそのときからの友達でありダンス・パートナーです。



先日、いつものクラスから離れ、タンゴの基本を段階を追って指導するセミナーを4回にわたって開催されました。私も参加したのですが、歩き方、腕の組み方、ステップの踏み方など、本当に丁寧に教えていただきました。そして、セミナーは4回とも大盛況でした。





この方たちがいつも会計をしてくださっています。先生を応援している方々です。

ブエノスアイレスから遠く離れたサルタでもやはりタンゴは人気があり、Hector 先生は現在 120人ほどの生徒を教えられているそうです。そして、最近、子供を対象にしたクラスも作られました。アルゼンチンでは子供のころからフォルクローレやタンゴを習うんですね。さすがアルゼンチンです。



先生に10年後の目標をお伺いしたところ、10年後もタンゴを教え続け、サルタにおけるタンゴの発展に尽力したいと話していました。そして、タンゴを教えることだけで生活できるようになりたいと。



教室風景。やさしく、丁寧に教えていただいています

余談ですが、Hector 先生は、お友達が日本でアルゼンチンタンゴを教えていらっしゃる、来日も視野にいれているようです。とても良い先生ですので、ぜひ日本でも教えていただきたいですね。



お世話になっているお礼に日本のお菓子をプレゼント。